

中央労働災害防止協会発表 平成 26 年 9 月 29 日



中央労働災害防止協会
教育推進部長 角元利彦
(公社)広島県労働基準連合会
専務理事・事務局長 文屋憲二

【照会先】
中央労働災害防止協会 総務部
上席専門役 間宮直樹
(電話) 03-3452-6542
(FAX) 03-3452-9225
(E-mail) koho@jisha.or.jp

全国産業安全衛生大会の開催

—安全と健康を守る これからの人づくり—

**緊急要請を受け、「労働災害ゼロをめざし、
減少に向け決意を新たにする場」**

中央労働災害防止協会（会長 榊原定征・(一社)日本経済団体連合会会長）（注）は、本年 10 月 22 日（水）から 24 日（金）までの 3 日間、広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）をメイン会場に、「**中災防創立 50 周年 第 73 回全国産業安全衛生大会**」を開催します。

併せて、同大会の会期中「**緑十字展2014** ^{りよくじゅうじてん}—働く人の安心づくりフェア in 広島—」を開催します。

さて、労働災害の発生件数は、本年上半期は労働災害による死亡者数、休業 4 日以上^{以上}の死傷者数ともに増加傾向にあり、特に前年同期に比べ死亡災害が大幅に増加するなど、憂慮すべき事態となっています。

こうした事態を受けて、8 月 5 日、国・厚生労働省は産業界全体に「労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請」を行いました。

そこで、中災防では、全国の事業場の安全衛生関係者が参集する本大会を、『労働災害ゼロをめざし、減少に向け決意を新たにする場』と位置づけ、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い決意を誓い、労働災害防止の気運の一層の高まりを図ることとしています。

（注）

中央労働災害防止協会（以下 略称「中災防」）は、昭和 39 年に労働災害防止団体にに基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、「企業の人材の育成」、「安全衛生の専門技術の提供」および「最新安全衛生情報の提供」などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

1 中災防創立 50 周年

第 7 3 回 全国産業安全衛生大会

(詳細は別添 1 = P. 3 ~ 10)

全国産業安全衛生大会は、昭和 7 年の第 1 回開催以来、全国の事業場の経営者、安全衛生スタッフ、管理・監督者、産業保健スタッフなどの安全衛生に係わる関係者約 1 万人が参集し、産業現場での安全と健康の確保を誓う国内最大の安全衛生イベントで、今年で 73 回目。広島では 9 年ぶりの開催となります。

第 1 日目 (10 月 22 日) の「広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ)」における総合集会では、開会式 (会長式辞、厚生労働大臣、広島県知事、広島市長の祝辞等)、表彰式が行われます。

引き続き、厚生労働省労働基準局から労働災害減少に向けた講演を、また、元マラソンランナー・有森裕子氏による『よろこびを力に…～諦めない心の育て方～』と題して特別講演をいただくこととしています。

第 2、3 日目 (23 日、24 日) には、広島国際会議場、広島市文化交流会館およびアステールプラザの 3 会場で、9 分科会に分かれ、事業場の安全衛生スタッフ等による改善事例・研究発表、有識者による専門的な講演、今日的なテーマについてのシンポジウムなど、合わせて約 180 件の多彩な演題を準備しています。

また、第 1 日目の総合集会において、労働災害のない安全・健康で快適な職場づくりを願う平成 27 年「年間標語」の発表、中災防創立 50 周年記念映像の上映を行います。

全国産業安全衛生大会へは、全国各地から企業関係者を中心に約 1 万人の参加を予定しております。

2 りよくじゅうじてん 緑十字展 2014 —働く人の安心づくりフェア in 広島—

(詳細は別添 2 = P. 11 ~ 13)

全国産業安全衛生大会と 3 日間併催で、広島県立広島産業会館において、働く人の安全と健康の確保に係る機械・機器、安全衛生保護具、職場環境改善関連分野、作業方法改善関連分野、健康増進・リフレッシュ関連分野、震災対策分野、地球温暖化対策関連など、広範な分野に関する最新の機器、設備、情報を展示いたします。

産業安全・労働衛生に関する国内最大の展示会です。

また、会場内では展示会のほかに特別セミナーを企画し、職場の安全衛生や健康づくり、震災対策などの国民的課題についても取り上げます。

1 大会の概要

(1) 日程

平成26年10月22日(水)～24日(金)

(2) 会場

総合集会(10月22日(水))＝広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)

分科会(10月23日(木)、24日(金))＝広島国際会議場、広島市文化交流会館、アステールプラザの3会場

(3) 初日の総合集会では、開会式、職場の安全と健康の確保・向上に功績のあった個人・事業場に対する表彰の後、厚生労働省労働基準局から労働災害の減少に向けた講演をいただくほか、元マラソンランナーでアトランタオリンピックの女子マラソンで銀メダルの有森裕子氏から『よろこびを力に… ～諦めない心の育て方～』と題して特別講演をいただきます。

(4) 2日目・3日目は、テーマ別に9の分科会(参考1)に分かれ、事業場等における安全衛生に関する改善事例や研究成果等の発表143件のほか、著名人、有識者、企業トップによる講演10件(参考2)、今日的なテーマについてパネルディスカッション、シンポジウム等7件(参考3)、特別報告・事例報告等23件など、合わせて180件の多彩なプログラムを用意しています。

なお、中国圏の各県から提出された16件の研究発表は(参考4)のとおりです。

2 大会の特徴

(1) 中災防創立50周年記念パネルディスカッション

本年の大会は、中災防創立50周年の記念すべき年に当たる。

昭和39年に労働災害防止団体が制定され、同年それに基づいて中災防が創立されてからのこの50年間に、企業が法令を遵守するとともに、自主的な安全衛生活動を進めてきた結果、労働災害は大幅な減少を見た。

また、この50年の安全衛生の歴史は、これまで労働災害防止に情熱を傾けて取り組んでこられた幾多の先人たちの不断の努力の積み重ねの上に築かれてきたものである。

しかしながら、産業構造の変化、就業形態の多様化、職場の高齢化等の変化の中で、現場の安全衛生のノウハウが十分伝承されておらず、現場力の低下を招来するなどの新たに取組むべき課題もでてきている。

そこで、中災防では本大会を創立50周年記念大会と位置づけ、大会を「安全と健康を守るこれからの人づくり」をテーマとして、産業社会の労働災害防止と新たな課題に取り組んでいく担い手に焦点を当て、特にリスクアセスメント/マネジメント分科会では、「安全と健康を守るこれからの人づくりを考える」と題した記念パネルディスカッションが予定されている。

(2) 地元と関係の深い講師

開催地である広島と関わりの深い著名人を招いて講演をいただく。

① 【安全管理活動分科会で講演】

山本一義氏（元広島カープ選手、元ロッテオリオンズ監督。日刊スポーツ新聞社プロ野球評論家、広島文化学園大学客員教授）

「野球界で学んだリーダーシップ」

② 【機械・設備等の安全分科会で講演】

今西和男氏（元サッカー日本代表選手。92年～02年までサンフレッチェ広島総監督、ゼネラルアドバイザーを歴任。現在は、吉備国際大学客員教授）

「組織づくりは人づくり」

9 科会と主なテーマ

- 1 リスクアセスメント／マネジメントシステム分科会
リスクアセスメント、マネジメントシステムの有効性、
労働安全衛生マネジメントシステムの導入・定着の事例など
- 2 安全管理活動分科会（1）
安全管理、小集団活動、職場安全活動の推進事例など
- 3 安全管理活動分科会（2）
中小企業・第三次産業の安全管理、職場安全活動の推進事例
- 4 機械・設備等の安全分科会
機械・設備の安全対策（はさまれ・巻き込まれ等の防止対策）の事例など
- 5 安全衛生教育分科会
企業内における安全衛生教育、安全（危険）体感教育の事例など
- 6 労働衛生管理活動分科会
職場の作業環境管理、作業管理及び健康管理に関する事例など
- 7 化学物質管理分科会
化学爆発・火災事故防止対策、化学物質に関するリスクアセスメント
- 8 ゼロ災運動分科会（※1）
危険予知訓練（KYT）や指差し呼称を日々の作業の中で展開している事例など
- 9 交通安全分科会
各社交通事故防止の取組み、構内・構外の交通事故防止対策事例など
- 10 メンタルヘルス／健康づくり分科会
ストレスチェックの考え方の解説、受動喫煙の防止・喫煙率の取組み、生活習慣病と職場の健康管理など

（※1）**ゼロ災運動**（ゼロ災害全員参加運動）とは、「働く人の立場に立って人間一人ひとりを大切にし、ゼロ災害、ゼロ疾病を究極の目標に職場の危険や問題点を全員参加で解決し、安全と健康を先取りすることによって明るくいきいきとした職場風土づくりをめざす運動」です。具体的には、職場の安全先取り活動である危険予知（KY）活動、指差し呼称、5S活動等を行うことによってヒューマンエラーによる事故を防止し、職場の安全水準を上げるための現場力の向上を図る運動として多くの職場で導入されています。

全国産業安全衛生大会(平成 26 年 10 月 22 日(水)～24 日(金))
講 演(11 件)

No	期 日	分科会名	項 目	演 者	演 題	所 属	役 職
1	10 月 22 日(水)	総合集会	特別講演	有森裕子	よろこびを力に・・・ ～諦めない心の育て方～		元マラソンランナー
2	10 月 23 日(木)	安全管理活動分科会(第 2 会場)	講演	田中 敏章	産業安全の現状と課題 ～第 12 次労働災害防止計画の取組と労働安全衛生法の改正概要について～	厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課	課長
3		安全管理活動分科会(第 1 会場)	講演	山本 一義	野球界で学んだリーダーシップ	日刊スポーツ新聞社 プロ野球評論家 広島文 化学園大学	客員教授
4		機械・設備等の安全分科会	講演	今西 和男	組織づくりは人づくり	吉備国際大学	客員教授
5		安全衛生教育分科会	講演	富田 賢吾	大学における事故情報 の活かし方	国立大学法人 大阪大 学 安全衛生管理部	准教授
6		労働衛生管理活動分科会	講演	大久保 利晃	放射線による健康影 響とその予防	(公財)放射線影響研 究所	理事長
7		ゼロ災運動分科会	講演	河内 理恵	労災 0 を目指して～現 場コミュニケーションス キルアップ講座	あいさつコンサルタン ト/コミュニケーション アドバイザー(有) アプローチ	代表取締役
8		メンタルヘルス/ 健康づくり分科会	講演	泉 陽子	労働安全衛生法改正 法のストレスチェック 制度について	厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課	課長
9		10 月 24 日(金)	安全管理活動分科会 (第 2 会場)	講演	石橋 明	現場力を高める CRM 訓練の導入-現場への 適合化手法-	(株)安全マ ネジメント研 究所 代表 取締役
10	化学物質管理分科会		講演	森戸 和美	今後の化学物質管理 のあり方について	厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対 策課	課長
11	交通安全分科会		講演	中田 敬司	事後の 100 策よりも事 前の 1 策	神戸学院大 学 現代社 会学部 社 会防災学科	教授

パネルディスカッション・パネルディスカッション（7件）

（1）10月23日（木） リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会

中央労働災害防止協会創立50周年記念パネルディスカッション

安全と健康を守るこれからの人づくりを考える

【パネリスト】

マツダ(株)執行役員 本社工場長	圓山 雅俊
学習院大学 経済学部 経営学科 教授	今野浩一郎
産業医科大学 産業生態科学研究所産業保健経営学 教授	
/産業医実務研修センター長	森 晃爾
(司会) 中央労働災害防止協会 理事長	関澤 秀哲

（2）10月23日（木） 機械・設備等の安全分科会

シンポジウム 機械安全を取り巻く国内外の状況とわが国の課題

【基調講演】

明治大学 名誉教授	向殿 政男
-----------	-------

【パネリスト】

長岡技術科学大学システム安全系 教授	福田 隆文
(一社) 日本電気制御機器工業会 副会長	
・制御安全委員会 委員長	藤田 俊弘
労働安全コンサルタント	川池 襄
中央労働災害防止協会技術支援部技術指導課長	青木 泰
(助言者) 厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課	
副主任中央産業安全専門官	芳司 俊郎
(司会) 中央労働災害防止協会近畿安全衛生サービスセンター所長	高橋 洋

（3）10月23日（木）労働衛生管理活動分科会

パネルディスカッション メンタルヘルス活動における衛生管理者の関わり方

【パネリスト】

(株) トッパンコミュニケーションプロダクツ 総務部主任	小沼 博子
新日鐵住金(株)名古屋製鐵所安全環境防災部安全健康室主幹	瀧口 好三
中央労働災害防止協会 総務部 相談員	武田 繁夫
(助言者) 中央労働災害防止協会労働衛生調査分析センター所長	清水 英佑
(司会) HOYA(株)HOYAグループOSH推進室	
環境・安全衛生統括マネージャー	神津 進

(4) 10月23日(木) 安全衛生教育分科会

パネルディスカッション 若者の安全教育を考える

【パネリスト】

大阪大学 安全衛生管理部 副部長 教授	山本 仁
愛媛大学大学院 教授	田中 寿郎
西日本高速道路メンテナンス中国(株) 代表取締役社長	有水 恭一
横浜ゴム(株) 三重工場安全衛生推進室安全衛生課長	西 正幸
(司会) 中央労働災害防止協会大阪安全衛生教育センター所長	早木 武夫

(5) 10月24日(金) 安全管理活動分科会(第1会場)

パネルディスカッション

海外進出時における安全衛生活動の進め方

【パネリスト】

日産自動車(株)人事本部グローバル人材開発部安全健康管理室主任	高橋 智則
ブラザー工業(株)人事部安全防災グループ	山口 研悟
三菱重工業(株)エネルギー・環境ドメイン経営管理統括部 安全管理部 プロジェクト安全管理グループ長	伊藤 禎夫
(司会) 中央労働災害防止協会技術支援部国際センター所長	奥村 英輝

(6) 10月24日(金) 化学物質管理分科会

シンポジウム 化学爆発・火災事故をどう防ぐか

～重大事故に学ぶ、今こそ問われる現場力～

【基調講演】

東京工業大学大学院

イノベーションマネジメント研究科 客員教授 中村 昌允

【パネリスト】

(一社)日本化学工業協会 常務理事 環境安全部長	春山 豊
東ソー(株)南陽事業所 環境保安・品質保証部長	西 晴久
(独)労働安全衛生総合研究所 化学安全研究グループ 上席研究員	島田 行恭
(公社)山陽技術振興会 人材育成室 室長	池上 正
(助言者) 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課長	森戸 和美
(司会) 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 副所長・衛生管理士	山田 憲一

(7) 10月24日(金)メンタルヘルス/健康づくり分科会

パネルディスカッション

中災防創立50周年事業

これから求められる「げんき de ワーク ～心からだりフレッシュ運動～」とは

【パネリスト】

(公財)労働科学研究所 副所長

吉川 徹

住友理工(株)(平成26年10月1日～)人事総務部

ヘルスケア室主査

川越 隆

藤沢タクシー(株)代表取締役社長

根岸茂登美

(司会)中央労働災害防止協会健康快適推進部

研修支援センター所長

三觜 明

全国産業安全衛生大会(平成26年10月22~24日)
中国地方の各県から提出される研究発表(16件)

No.	県	期日	分科会名	演題	発表者名	事業場名・所属
1	岡山	10月23日(木)	機械・設備等の安全分科会	バケットコンベアの巻き込まれ防止安全対策	竹内 一利	DOWA エフテック(株) 製造部 工務担当
2	岡山	10月24日(金)	安全管理活動分科会(第1会場)	多角的な評価・改善活動の充実によるヒューマンエラー未然防止活動について	井上 良浩	中国電力(株)津山電力所 企画課・専任課長代理
3	広島	10月23日(木)	安全管理活動分科会(第2会場)	JFE スチール(株)西日本製鉄所(福山地区)における重大リスク撲滅へ向けた取り組み	吉岡 明德	JFE スチール(株)西日本製鉄所(福山地区) 安全衛生室 主任部員
4	広島	10月23日(木)	安全管理活動分科会(第2会場)	2S 活動と職場の意識改革による労働災害件数の削減	松永 晋一郎	(株)イズミ 本社人事部人事課 担当マネージャー
5	広島	10月23日(木)	安全衛生教育分科会	JFE スチール西日本製鉄所福山地区における危険体感教育への取り組み	中井 克紀	JFE スチール(株)西日本製鉄所(福山地区) 安全衛生室 主任部員
6	広島	10月23日(木)	ゼロ災運動分科会	ゼロ災害を目指す指差呼称とKYTの効果的な実施	藤木 祐太	山崎製パン(株)広島工場 人事課
7	広島	10月23日(木)	ゼロ災運動分科会	『0 から“ゼロ”へ!』の安全活動 ※災害“ゼロ”を目指して0からの安全活動	栗田 長典	JFE スチール(株)西日本製鉄所(福山地区) 安全衛生室 主任部員
8	広島	10月23日(木)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	中小企業における安全衛生対策 高年齢者も「働いてよかった」と思う事業場づくり	土居 和雄	中国電機製造(株)柱上変圧器リサイクル部 マネージャー
9	広島	10月23日(木)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	自分らしい豊かな生活を送るための「健康一級」活動	峠越 千歩	(株)ディスコ広島事業所 広島総務部総務グループ 保健師
10	広島	10月23日(木)	メンタルヘルス/健康づくり分科会	マツダにおける生活習慣病ハイリスク者フォローの取り組み	眞鍋 里恵	マツダ(株) 安全健康防災推進部健康推進センター保健師
11	広島	10月24日(金)	交通安全分科会	通勤時の安全対策	七河 義孝	(株)保安警備 代表取締役
12	広島	10月24日(金)	安全衛生教育分科会	アイコンタクトで安心・安全誘導	田中 敏也	リライアンス・セキュリティ(株) 代表取締役
13	山口	10月24日(金)	リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会	報告・連絡・相談を円滑に～課内のコミュニケーション強化をめざして～	森島 毅	日本通運(株)防府支店 中関事業所 海運課係員
14	山口	10月24日(金)	安全衛生教育分科会	リスク感度を高める安全体感室の開設と発掘したリスクの低減に向けて	野上 和彦	西日本旅客鉄道(株)広島支社下関総合車両計画科・車両管理係所
15	鳥取	10月24日(金)	リスクアセスメント/マネジメントシステム分科会	全員参加による触車リスク低減の取り組み	角 勇人	西日本旅客鉄道(株)米子支社後藤総合車両所 出雲支所・車両管理係
16	島根	10月24日(金)	交通安全分科会	大畑建設(株)の交通安全に対する取り組み	谷岡 宏幸	大畑建設(株) 安全室・主任

りよくじゅうじてん

緑十字展 2014

— 働く人の安心づくりフェア in 広島 —

1 緑十字展 2014 の概要

緑十字展は、昭和43年（1968年）10月、東京都港区の産業安全会館において開催した安全衛生保護具の展示会がその起源で、本年度で47回目を迎えます。労働安全衛生に関する国内最大の展示会です。

今年の緑十字展には90を超える企業や機関・団体からの出展を予定しています。

- ① 安全衛生分野の保護具・機器、機械の本質安全化に係る機器
- ② 職場環境改善関連分野、作業方法改善関連分野、健康増進・リフレッシュ関連分野の機械・器具
- ③ 防災・震災対策分野、省エネ対策関連など広範な分野の機器、設備など、各社の最新かつ多数の商品・情報を展示

会場内では、出展者（企業・機関・団体等）による一般展示のほか特別展示や特別セミナーなどを企画し、労働安全衛生を中心に、震災対策等今日の国民的課題も取り上げる予定です。

また、特別企画として、安全衛生保護具の正しい装着などの体験を通して安全衛生保護具の有効性を再認識していただける「安全衛生保護具体験道場」を企画しています。

開催期間中、全国産業安全衛生大会の参加者をはじめ、企業関係者など約1万2千人の来場を予定しています。

入場は無料です。

2 特別企画・特別セミナー等について

1 概要

出展者による一般展示の他に、来場者が実際に体験することができる特別企画コーナーを設けます。

また、特別セミナーとして初日・2日目に安全衛生セミナーおよび震災対策セミナーを開催するとともに、会期中、グルメ・物産コーナーを設けることとしています。

2 特別企画

(1) 安全衛生保護具体験道場

日本労働災害防止推進会の指導のもと、保護具等を実際に装着しながら、保護具の正しい知識や装着方法を学ぶことができます。

(2) 特別展示～南海トラフ巨大地震に備える～

「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」（神戸市）の協力を得、内閣府

公表の南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた、これからの防災・減災を考える展示を行います。

(3) 「タニタ健康プログラム」展示・体験コーナー

健康測定機器メーカーである(株)タニタの協力を得、「第2回健康寿命をのぼそう！アワード」(平成25年11月)において厚生労働大臣最優秀賞を受賞した「タニタ健康プログラム」の紹介とその体験コーナーなどを展開します。

(4) 広島FMトークショー

テーマ 「スポーツトレーナーに学ぶ 労働災害に負けない体づくり」

日 程 10月22日(水) 12:45~13:30

スポーツトレーナーの鈴木卓也氏(元広島東洋カープトレーナー)をゲストに迎え、広島FM神原隆秀(「DO THE GARP」パーソナリティ)司会によるトークショーを行います。

(5) 学生を対象にした安全衛生を学ぶ機会を企画

一般の方はもとより、特に、これから職場で活躍が期待され、次世代を担う学生を対象に、安全衛生の基本や保護具について学ぶ機会としてセミナーの受講を含めた見学ルートを企画し、広島の県立・市立の工業高校、専門学校の学生の方々にご参加いただくこととしております。

3 特別セミナー

(1) 安全衛生保護具セミナー

保護具の選び方、正しい装着方法などについて解説します。

(2) 安全衛生保護具体験道場セミナー

実際に保護具の装着を体験する特別企画「安全衛生保護具体験道場」の特別セミナーです。安全衛生の基本セミナーとして、一般来場者のほか地元の学生を招きます。

(3) 健康づくりセミナー

「タニタの社員食堂健康セミナー」などを予定しています。

(4) 震災対策セミナー

今、企業に求められている震災対策についての講演を予定しています。

(5) その他

「元広島カープトレーナーによるトークショー」などを予定しています。

4 グルメ・物産コーナー

お好み焼き等広島のご当地グルメが味わえるグルメコーナーや、名産品などの販売を行うコーナーを設けます。

5 開会式のイベント

広島市消防音楽隊による演奏を行います。

6 シャトルバスの運行

会期中、緑十字展会場である広島県立広島産業会館と全国産業安全衛生大会の総合集会場の広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）、分科会場の広島国際会議場等を結ぶシャトルバスを運行します。